

広域 広報

なんぶ

南部広域行政組合広報誌



関係市町村長協議会



親子映写会



短期研修講座



全国適応指導教室連絡協議会

目次

- 議会…………… 2 P
- 総務…………… 2・3 P
- 最終処分場建設準備室…………… 4 P
- 教育委員会…………… 4 P
- 島尻教育研究所…………… 5 P
- 適応指導教室「しののめ教室」…… 6・7 P
- 視聴覚ライブラリー…………… 7 P
- 南部広域行政組合の概要…………… 8 P

議会

議長に川平善範氏

組合議会は、7月14日に臨時会を開催し、正副議長の選挙、収入役の選任、教育委員会委員の任命の人事案件を処理した。議決内容は次のとおり

- 選挙第1号 議長選挙
任期満了により
☆川平善範氏(玉城村議長)が当選。
- 選挙第2号 副議長の選挙
任期満了により
☆大城正行氏(糸満市議長)が当選。
- 同意第2号 収入役の選任に
前収入役の退任に伴い
☆安谷屋敏昭氏(豊見城市収入役)を選任。
- 同意第3号 議会代表監査委員の選任について
任期満了に伴う
☆大城英和氏(豊見城市議長)を選任。
- 同意第4号 教育委員会委員の任命について
志田安徳前委員の退任に伴う後任の選任。
☆大城勇氏(糸満市教育長)を選任。



川平 善範
(玉城村議長)



大城 正行
(糸満市議長)



安谷屋 敏昭
(豊見城市収入役)



大城 英和
(豊見城市議長)



大城 勇
(糸満市教育長)

平成16年度一般会計歳入歳出決算を認定(定例会議)

組合議会は、10月31日に定例会を開催しました。

- 報告第1号 平成16年度南部広域行政組合事業報告
- 議案第3号 平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ☆決算書のとおり認定
- 議案第4号 南部広域行政組合管理者等の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 沖縄県、南部広域市町村圏事務組合及び管内一部事務組合の旅費等関係規定を参考に本条例を改正
- ☆原案可決。



△第3回議会(定例会)自治会館

○議案第5号 南部広域行政組合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

沖縄県、南部広域市町村圏事務組合及び管内一部事務組合の旅費等関係規定を参考に本条例を改正

☆原案可決

総務課

平成18年度負担金を承認(関係市町村長協議会)

組合では、11月7日に南部広域行政組合関係市町村長協議会を開催しました。

○報告第1号 平成16年度南部広域行政組合事業報告

○報告第2号 平成16年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算報告

○協議第1号 南部広域行政組合(一般廃棄物最終処分場負担金を除く)の負担金割合の変更について
現行の人口割80%、均等割20%を人口割85%、均等割15%に変更。
☆原案のとおり承認

○協議第2号 平成18年度南部広域行政組合の各負担金の金額について

事務局運営負担金2908万5千円(前年度同額)、鳥尻教育研究所負担金3836万7千円(前年度同額)、適応指導教室負担金320万1千円(前年度比3%減)、視聴覚ライブラリー負担金933万1千円(前年度比3%減)、一般廃棄物最終処分場負担金1億2330万3千円(前年度同額)。
☆原案のとおり承認

○協議第3号 平成18年度南部広域行政組合の各負担金において、負担金増となる市町村へ当該市町村に帰属する財政調整基金を充てることについて
☆原案のとおり承認



△関係市町村長協議会(福祉センター)

平成16年度 事業報告及び決算

一. 議会、総務

- ①議会の開催
・定例会2回(10月、3月)
・臨時会1回(8月)
- ②南部広域行政組合関係市町村長協議会の開催(11月)
- ③組合広報誌の発刊(年2回)

二. 一般廃棄物最終処分場建設準備

- ①南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会(南廃協)の運営
- ②候補地選定に関する市町村ヒヤリング
- ③候補地の現地踏査
- ④住民・議員説明会
- ⑤シンポジウムの実施(11月)
- ⑥四部会の運営
- ⑦住民委員会の開催(11回)
- ⑧住民委員会との意見交換会(施設建設選定部会・循環研)
- ⑨視察研修
(久米島町クリーンセンター)
- ⑩南廃協広報誌の発刊(毎月構成市町村全戸数)
- ⑪ホームページの随時更新

三. 教育委員会

- ①教育委員会の会議の開催
・定例会2回
・臨時会4回

四. 鳥尻教育研究所関係

- 鳥尻教育研究所
- ①管内市町村の幼稚園、小学校、中学校から教育研究員(長期研修)の受け入れ
・前期6名・後期7名
- ②指導講師による指導
- ③所内研修・所外研修の実施
- ④研究報告会の開催(2回)
- ⑤短期研修講座(情報教育、幼稚園教育の実施)
- ⑥幼稚園教頭・主任等宿泊研修会の実施
- ⑦研究協力員による調査・研究事業
- ⑧教育文化講演会及び公開授業の開催
- ⑨全教連、沖教連主催研修会への参加
- ⑩鳥尻教育研究所運営委員会の開催(2回)

五. 視聴覚ライブラリー

- ①視聴覚教材・機材の貸出し(貸出本数634件)
- ②視聴覚ライブラリー運営委員会の開催(8回)
- ③視聴覚教材・機材の購入
- ④離島利用促進研修会の開催(南大東村・渡嘉敷村)
- ⑤管内本島の小中学校・各種団体等への教材・機材の搬送收受
- ⑥管内離島への港口、まで教材・機材の搬送及び收受
- ⑦全国視聴覚教育総合研究大会への参加
- ⑧沖縄県視聴覚ライブラリー連絡協議会への参加

平成16年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算

*単位:円

(歳入)				(歳出)				
款	項	予算現額	収入済額	款	項	予算現額	支出済額	
1.分担金及び負担金		153,604,000	153,604,000	1.議会費		703,000	369,588	
	1.負担金	153,604,000	153,604,000		1.議会費		703,000	369,588
2.国庫支出金		1,000	0	2.総務費		34,936,000	34,550,436	
	1.国庫補助金	1,000	0		1.一般管理費		34,817,000	34,435,729
3.県支出金		1,501,000	1,500,000	2.監査委員費		119,000	114,707	
	1.県補助金	1,000	0	3.衛生費		74,632,000	72,595,418	
2.委託金	1,500,000	1,500,000	1.最終処分場費			74,632,000	72,595,418	
4.財産収入		70,000	66,184			53,016,000	50,870,548	
	1.財産収入	70,000	66,184	4.教育費		487,000	484,889	
5.繰入金		1,000	0		1.教育総務費		44,634,000	42,906,290
	1.繰入金	1,000	0		2.教育研究所費		7,895,000	7,479,369
6.繰越金		13,260,000	13,260,216	3.視聴覚教育費		1,000	0	
	1.繰越金	13,260,000	13,260,216	5.公債費		1,000	0	
7.諸収入		25,000	47,531		1.利子		5,175,000	0
	1.預金利子	24,000	25,292	6.予備費		5,175,000	0	
2.雑入	1,000	22,239	1.予備費					
8.組合債		1,000	0					
	1.組合債	1,000	0					
歳入合計		168,463,000	168,477,931	歳出合計		168,463,000	158,385,990	

最終処分場建設準備室

候補地を5カ所に絞る

第1部会(施設建設選定部会)部長 宮平正和 西原町助役の第8回会議が7月8日から東風平町・南部総合福祉センターで開催された。

会議は今年2月に第1部会のメンバー16人が10候補地を現地踏査等の評価を行い、これに基づき10候補地から5候補地に絞り込んだ。

【項目】

- ①生活環境
- ②自然環境
- ③土地取得
- ④災害の危険度
- ⑤施工性
- ⑥建設維持管理

【3段階評価】

- A(評価が高い)
- B(評価が中位)
- C(評価が低い)

また、7月29日に開催された会議において、現地踏査は説明会を一通り終えてから実施していくことが確認された。

市町村	地区名
糸満市	真栄里地区
東風平町	外間地区
具志頭村	安里地区
玉城村	垣花地区
西原町	小那覇地区



△第1部会(福祉センター)

3候補地絞り込み検討

9月6日の会議では、はじめに事務局から5候補地に対する地域住民説明会の現状について報告があり、玉城村垣花区が住民説明会を受け入れない状況も報告された。

また、地域住民と第1部会委

員との意見交換会の実施については評価の平等性を確保する上からも実施していくことを確認した。更に5候補地から3候補地に絞り込む第2段階評価基準についても討議された。

事務局から提示された案は、

- ①景観変化のインパクト
 - ②周辺集落
 - ③周辺民家との距離
 - ④周辺公共施設
 - ⑤上水道水源の有無
 - ⑥周辺環境
 - ⑦土地利用現況
 - ⑧土地所有区分
 - ⑨地形区分
 - ⑩地形概況
 - ⑪地質概況
 - ⑫造成の形態
 - ⑬取付道路の形態
 - ⑭排水路の整備
 - ⑮その他(施工性)
 - ⑯アプローチ道路の問題点
 - ⑰運営効果・効率
- など17項目についてそれぞれ3段階(A・B・C)評価を行い、またその評価基準に新たに「地域事情」を追加して(数値化)地域住民の声を反映させるか等、検討されたが、結論は出す次回会議で討議していくことになった。



△第4回教育委員会のようす

教育委員会

新年度教育事業負担金等を審議

10月4日、第4回会議(定例会)を開催しました。

○報告第3号 平成16年度南部広域行政組合教育事業報告
教育委員会会議の状況ほか各事業(島尻教育研究所、適応指導教室、視聴覚ライブラリー)の報告

○報告第4号 平成16年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算報告

○報告第5号 平成17年度教育事業(島尻教育研究所、適応指導教室、視聴覚ライブラリー)中間報告

○議案第5号 平成18年度島尻教育研究所負担金について
☆原案どおり承認(関係市町村長協議会提出確認)
○議案第6号 平成18年度適応指導教室負担金について
☆原案どおり承認(関係市町村長協議会提出確認)
○議案第7号 平成18年度視聴覚ライブラリー負担金について
☆原案どおり承認(関係市町村長協議会提出確認)

○報告第6号 平成18年度教育研究員募集要項について

○協議第1号 視聴覚ライブラリー機材・教材の糸満市への貸出のあり方について
糸満市視聴覚ライブラリーの充実を促し、相互貸借ができるように協議がなされた。

島尻教育研究所

平成17年度

短期研修講座を開催

今年度の短期研修講座では、現場のニーズに応えるよう「幼稚園教育」「幼稚園コンピュータ実研修」「小中コンピュータ実研修」の3講座を企画しました。各講座とも多くの先生方の参加を得、充実した研修会になりました。

○幼稚園教育研修

7月26日・27日に南部総合福祉センターにて幼稚園教諭を対象とした講座を開催しました。(受講者は104名)

1日目は絵本を生かした幼児教育の在り方について講話と実技研修をもとに研修しました。琉大の嘉数教授からは幼児の発達段階を押さえた絵本の与え方や読み聞かせの方法など、理論的な話をいただきました。また、元嘉芸幼稚園教諭の比嘉先生による絵本作りの実技研修では、草花を使った色鮮やかな絵本作り方について学びました。

2日目は、幼稚園教育の今日的課題を中心に研修しました。まず、元義務教育課指導主事の比嘉美也子先生からは、今後の幼児教育の在り方について、沖縄県の幼児教育の現状をもとに話をしていた



△草花を使った絵本作り

いただきました。また、幼小や幼保の連携の在り方について、諸見幼稚園と諸見小学校の実践から、学ぶことができました。さらに、障害を持つ幼児への対応の仕方など、島尻養護学校の石川先生に専門的な立場からくわしく話をいただきました。

○幼稚園・小中コンピュータ実技研修

8月1日・2日(幼稚園)
8月4日・5日(小中学校)

幼稚園のコンピュータ実技研修には多くの先生方の受講が予想されたため、今年は定員を30名に増やして対応しましたが、それを超える59名の応募者がありました。中級コースでは、沖縄県立総合教育センターIT教育課の全面的な協力を得て、教材作成支援ソフト、学習評価支援ソフトおよびマニ

ニアルの提供を受けました。

受講者は、2日間で教材作成のノウハウを修得しソフトの操作に慣れ、それぞれアイデアいっぱい教材を完成させることができました。



△中級コース(東風平小学校にて)

長期研修修了者の会名称を「東雲の会」に

島尻教育研究所の修了者は、平成16年後期で、154人になりました。そこで、昨年より、修了者のネットワークをつくり、島尻教育研究所並びに島尻の教育の発展を図ることを目的として修了者の会を開催しています。

今年も8月24日に開催し115人の参加がありました。その中で修了者の会の名称が「東雲の会」に決まりました。また、当日は、元沖縄県教育委員会教育長の津嘉山朝祥氏に講話をしていただきました。



△津嘉山朝祥氏

平成17年度後期研究員が入所しました。

10月1日より、新たに7名の長期研究員が入所しました。これより半年の間、研究所にて各自テーマを持って研究を行います。

教科・領域	研究員氏名	所属
幼稚園教育	金城明美	糸満市立潮平幼稚園
小学校算数	佐久川かつ枝	糸満市立米須小学校
小学校道徳	玉那覇三千代	糸満市立潮平小学校
特別支援教育	宮国定明	豊見城市立上田小学校
小学校教育相談	三浦リカ	玉城村立百名小学校
中学校保健体育	神谷公子	糸満市立潮平中学校
中学校学年経営	垣花英正	糸満市立高嶺中学校



適応指導教室 （しのめ教室）

新年度入室者は7名

5月20日（金）に入室式があり、小学生1名、中学生6名、計7名の児童生徒が入室しました。「しのめ教室」では、心因性の不登校児童生徒に対し、体験活動学習指導、教育相談等の援助指導を通して、自立心を高め、社会性を身につけさせ、学校生活への適応を図り、学校復帰を目指します。

全国会議にて取組みを報告

去る7月25日（月）・26日（火）に第12回全国適応指導教室連絡協議会全国会議に参加しました。今回は2日目の分科会で「しのめ教室」の実践発表に発表者として参加しましたので、その概要を報告したいと思います。

まず、発表した内容ですが、昨年の「しのめ教室」の取り組みで活動の重点として次の5項目を取り上げました。

- ① 個別適応指導と集団適応指導のプログラムの工夫
- ② 学習活動の工夫
- ③ 教育相談の工夫

④ 家庭・学校・教育委員会・その他関係機関との連携の工夫
⑤ SSN整備事業の充実

「しのめ教室」では、体験活動、学習活動、教育相談を3つの柱として児童生徒の実態に応じた援助指導を行っています。援助指導においては「自立への力を育てる」ということを基本的な関わり方の視点としてもっています。すなわち、児童生徒自らが「気づく」「考える」「決める」「行動する」というプロセスを重視すること、「好きなこと」「できていること」に焦点を当てそれを拡大することによって自己肯定感を高めることを大事にしています。特に体験活動は、ボランティア講師を招聘しての制作活動、芸術・文化活動、勤労・生産活動等の取り組みや、その他の交流活動を通して児童生徒の自立への力を育むための活動に力を入れています。また、学校等の関係機関との連携として「しのめ教室」の情報を提供すること、「しのめ教室」に足を運んでもらうことを中心に取り組んでいます。



△しのめ教室 担当教諭（大城直樹）

具体的には、学級だより、親の会、出席状況報告、ケース会議、学級担任会議、チャレンジ登校の援助等です。そして、SSN整備事業として、不登校対策のためのカウンセリング講座、保護者相互支援の会、適応指導教室連絡会等を開催し、「ネットワーク」を通して不登校児童生徒へのサポートを行っています。

これらの取り組みに対し、質疑や助言等がありました。全国の適応指導教室で課題とされているのが、いかにして学校復帰までつなげていくかということでした。従って段階的な援助指導、特にチャレンジ登校についての質問が集中しました。また、大分県教育センター教育相談部長の佐藤敬子氏より多くの助言が得られました。その中でいろいろな人たちと関わる体験活動は、子どもたちにとっていい意味



△全国適応指導教室連絡協議会全国会議の様子

児童生徒支援加配等研修会

中学校に配置されている児童生徒支援加配、適応指導教室担当者、島尻教育事務所教育相談員が参加し、連絡強化を図るための研修会が定期的に開催されています。参加者からは「他校における不登校生徒への具体的な手だてや支援の方法、二事例に対する具体的な助言等も得ることが出来て有効だった」との意見がありました。

心因性不登校児童生徒 保護者相互支援の会

7月29日・9月27日に心因性不登校児童生徒の保護者同士が情報交換をし、相互支援をする心因性不登校児童生徒保護者相互支援の会を開催しました。9月に行われた保護者相互支援の会を終えて、参加者からは「一人じゃない。他の人も悩んでいる方がいて、皆一生懸命だということではげまされました。」「いろんな方たちの悩み等、自分と同じような方もいるのには安心しました。がんばっていける気がします。」「子どもに対しての接し方がとても参考になりました。」などの感想がありました。

今年度はあと11月・1月・3月に開催を予定していますので、参加者を希望される方は教室までお問合せください。

【しのめ教室】TEL998-6254

宿泊学習

共同生活を通して集団活動の楽しさを味わい、活動意欲を高めるため、玉城少年自然の家にて7月7日から1泊2日の日程で宿泊学習が行われました。

グラントゴルフ、野外炊飯、星座観察、史跡巡り等、楽しい時間を過ごしました。

いきいき自然キャンプ

10月14日から1泊5日の日程で、渡嘉敷島にて「いきいき自然キャンプ」を開催しました。子どもたちからは「夕食にカレーを作ったとき、心配だった（味）けど案外美味しかったのでよかった」との感想もありました。最後までキャンプをやり通した子ども達の顔には満面の笑顔がありました。

スタディータイム

「しのめ教室」での学習は、自分の学年の学習内容にこだわらないでよいことを児童生徒に理解してもらい、個別の学習支援をしています。成就感、達成感を得ることで次の段階に挑戦していく意欲がでてきます。日課の前半にスタディータイムを設定し、学習に集中している児童生徒は時間を延長できるようにしました。

教育現場で使える カウンセリング講座

しのめ教室では、これまで、全6回のうち5回の講座を終了しました。今後の講座の予定は次のとおりです。

No.	日付	講師	タイトル
1	6/8	喜瀬 乗進	プラスの関係性で育てる生徒指導
2	8/22	永山 盛信	学校現場で使える交流分析
3		仲村 将義	Q-Uを用いた学級集団のとらえ方と育て方
4	8/23	平田 幹夫	不登校児童生徒に寄り添った支援のあり方
5	11/16	長田 清	解決思考アプローチの技法（15時～17時）
6	1/11	大城 政之	LD・ADHDへの理解と対応（15時～17時）

視聴覚ライブラリー

離島親子映写会を開催

9月25日（座間味村）・10月15日（粟国村）にて親子映写会を開催しました。座間味では約100人、粟国村で約50名の親子が熱心に鑑賞していました。



▽親子映写会の様子（座間味村）

購入機材・教材を 募集してます。

平成18年度視聴覚機材・教材を購入するにあたり、利用者からの購入希望を募っていますので事務局までご連絡ください。

機材教材の配送・ 回収やってます

管内市町村の小中学校、各種団体への機材・教材の配送・回収を週3回（月水金）行っています。前日までに電話にて予約してください。

TEL
998-8390



インターネットで 教材検索ができるように なりました。

6月1日より、沖縄県教育庁生涯学習振興課が管理しているホームページ「生涯学習情報プラザ」にて沖縄県にある視聴覚ライブラリー教材検索ができるようになりました。教材検索のほか、沖縄県各地で行われている講座等の情報が掲載されていますので、ご覧ください。



<http://www.ill-okinawa.info/>

視聴覚ライブラリー 機材教材の貸出システム

視聴覚ライブラリーにおける資料は、組合を構成する市町村の小中学校、社会教育団体及び教育文化団体、その他教育長が適当だと認めたものに対して無料で機材教材の貸出を行います。

貸出対象市町村

豊見城市	南風原町
東風平町	渡嘉敷村
具志頭村	座間味村
玉城村	粟国村
知念村	渡名喜村
佐敷町	南大東村
与那原町	北大東村
大里村	

○開館時間

9時～16時まで

○休館日

土・日・祝祭日

南部広域行政組合の概要

○沿革

昭和56年4月1日	伝染病予防法に基づく伝染病隔離病舎の設置運営と視聴覚ライブラリーの設置運営のため、那覇市を除き浦添市、西原町を含む南部20市町村で設立(複合的一部事務組合)。
平成6年4月1日	島尻教育研究所の設置
平成10年4月1日	島尻教育研究所の中に適応指導教室「しのめ教室」を開設。
平成11年3月31日	伝染病予防法の廃止により伝染病隔離病舎事業が廃止。(浦添市、西原町、仲里村、具志川村が組合を脱退し、構成市町村は16市町村になる)
平成14年4月1日	一般廃棄物最終処分場事業が加わる。(西原町が再加入し、組合を構成する市町村は17市町村となる。)

○事業を共同処理する市町村(組合構成17市町村のうち事業ごとに共同処理する市町村が異なります。)

視聴覚ライブラリー事業
(15市町村)

豊見城市 東風平町 具志頭村 玉城村 知念村
佐敷町 与那原町 大里村 南風原町 渡嘉敷村
座間味村 粟国村 渡名喜村 南大東村 北大東村

島尻教育研究所事業
(14市町村)

糸満市 豊見城市 東風平町 具志頭村 玉城村
知念村 佐敷町 与那原町 大里村 南風原町
渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村

適応指導教室事業
「しのめ教室」
(13市町村)

豊見城市 東風平町 具志頭村 玉城村 知念村
佐敷町 与那原町 大里村 南風原町 渡嘉敷村
座間味村 粟国村 渡名喜村

一般廃棄物最終処分場事業
(10市町村)

糸満市 豊見城市 東風平町 具志頭村 玉城村
知念村 佐敷町 与那原町 大里村 西原町

○組合の組織図

